

いつもありがとうございます。今回のテーマは「ユニフォームにもこだわりを」。約3年前に、ある利用者様からこう言われた事があります。

「みんなが同じデザイン、カラーのユニフォームで、いかにも、老人施設という感じがして自分の老いを感じるとの事でした。」

考えてみると「確かにそうだな、そういう感じがもあるな」と思いました。例えば、レストランなどでコックの姿を見るだけで、「何か期待できる料理が出てきそうだな」という気持ちになる時もありますよね。

見た目、見られたときの印象も大事だと感じました。(もちろん、時と場所をわきまえた、服装を心がける事が大切です。)

弊社では、様々なデザイン、カラーのユニフォームがあります。施設の特色をユニフォームからだしていく事も大事だと思い、ユニフォームを選んでいきます。デザインや色が与えるイメージを重視した、ユニフォーム選択をしています。

武蔵野事業所は沖縄風がコンセプトですので、夏は「アロハシャツ」、冬場は「かりゆしウェア風のシャツ」などのユニフォームを取り入れています。施

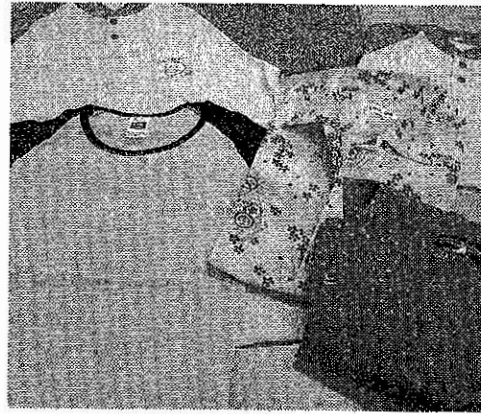
第6回

アカルイ 介護ビジネス

若手経営者の新手法

ユニフォームにもこだわりを

利用者からは好印象、職員は「楽しみ」に



▲はっぴーライフのバラエティーに富んだユニフォーム

設の雰囲気にも合っていると、利用者様にも好評です。

職員へは2・3枚のデザイン、カラーの違いユニフォームを渡しています。今日、何を着るかは職員の自由です。職員が選択したユニフォームのカラーを見て、心情を察する為の参考にもしております。(例えば、赤であれば、新陳代謝を活発にする。食欲を増進させる。活動的になる。)ユニフォーム一つですが、管理者と職員とのコミュニケーションにも活かす事が出来ると思います。また職員も今日は何色にしようかな?など選ぶ楽しみも出てくると思えます。

最初は抵抗を持つ職員もいるかもしれませんが、同僚や利用者様から「似合ってる」などの言葉を頂く事で、無意識ではあっても嬉しものだと思います。

明るい職場環境づくりに、ユニフォームのこだわりも一つ取り入れてみてはどうでしょうか?



はっぴーライフ代表取締役社長 辻川 泰史

1978年1月生まれ、東京都出身。日本福祉教育専門学校卒業。老人ホーム、在宅会社の勤務を経て2002年(株)はっぴーライフ設立。2008年(株)エイチエル設立。今年6月、デイサービス検索サイト、デイケンサク(www.daykensaku.com)を開設。